

八景 (hakkei)

八景とは、近江八景や金沢八景のように、ある地域の八つの景勝をいう。ただし、優れた景色を単に八つ選ばばよいというものでなく、本来は、景観の構造や構成に一定の様式を踏まえて選ぶものだそうです。八景のモデルは中国の瀟湘(しょうしょう)八景が元祖です。これは中国湖南省の洞庭湖に注ぐ川である瀟水と湘水の風水の中から

- ①「平沙落雁(へいさらくがん)」・・・秋に雁が隊列を組ながら飛び来たり飛び去る姿
- ②「遠浦帰帆(えんぽきはん)」・・・夕刻に船が港に戻ってくる様子
- ③「山市晴嵐(さんしせいらん)」・・・晴れた日の霞や露、あるいは青葉の頃に吹く薫風
- ④「江天暮雪(こうてんぼせつ)」・・・夕暮れ時の雪景色
- ⑤「洞庭秋月(どうていしゅうげつ)」・・・秋の夜空に冴える満月を望む様子
- ⑥「瀟湘夜雨(しょうしょうやう)」・・・夜に降るしめやかな雨の情景
- ⑦「煙寺晩鐘(えんじばんしょう)」・・・お寺の鐘が鳴り渡る暮れ方の風景
- ⑧「漁村夕照(ぎょそんせきしょう)」・・・ものがみな茜色に染まる美しい夕映えの風景

の八つが定められ、画題としたところからはじまると言われています。

八景における変動要因*5

変動要因	添景 (味覚を除く五感的なもの)				時間		天候	近江八景	金沢八景
	視覚	聴覚	嗅覚	触覚	季節	時刻			
瀟湘八景	視覚	聴覚	嗅覚	触覚	季節	時刻			
平沙落雁	雁	鳥音			秋	(夕)		堅田落雁	平潟落雁
遠浦帰帆	船					夕		矢橋帰帆	乙幡帰帆
山市晴嵐	雲	風音		体感(温・湿)	春秋	曇	(嵐)	粟津晴嵐	洲崎晴嵐
江天暮雪	雪	静寂	雪時の匂い	体感(温度)	冬	夕	雪	此良暮雪	内川暮雪
洞庭秋月	月				秋	宵	晴	石山秋月	瀬戸秋月
瀟湘夜雨	雨	雨音	湿った匂い	体感(湿度)		夜	雨	唐崎夜雨	小泉夜雨
煙寺晩鐘	(寺)	鐘音				夕(夜)		三井晩鐘	称名晩鐘
漁村夕照	夕焼					夕	晴	勢田夕照	野島夕照

代表的な八景

- ・瀟湘八景 (11世紀)
- ・近江八景 (15世紀)
- ・金沢八景 (17世紀)
- ・日本新八景 (昭和2年)
- ・新日本八景 (昭和18年)

※その他、新聞社、雑誌社により八景、百景が定められている。

八景の中では、視覚以外に聴覚、嗅覚などの五感や時間、天候の要因も含まれている。

八景 (hakkei)

八代にも「八景」がありました。加藤正方の時代と松井直之の時代に詠まれています。古くから八代は風向明媚なところだったのでしょ。二人が詠った八景を紹介します。

1. 夜雨：瀟湘の雨を聞く
2. 秋月：月澄み登る木綿葉川
3. 晴嵐：麓の里の夕嵐
4. 夕照：漁村の夕照遠からず
5. 暮雪：雪の松江の白鳥
6. 晚鐘：遠寺の鐘も響き来て
7. 帰帆：一葉の舟のほのかなる
8. 落雁：平沙の落雁も

ここは八代の鏡の池のひとつおし、おのが影をや妻とみるらんと、くちぎさみぬる其人も心筑紫の旅ならんと今身の上知られたり、実にや押なべて物を思はぬ人にさへ、心を津ぐる秋の初風と、彼の西行がつらねしも、かかる折にや、花咲き出る萩原の尾花につづく袖見へて、麓の里の夕嵐、遠寺の鐘も響き来て、月澄み登る木綿葉川、雪の松江の白鳥やよせくる波の音までも、瀟湘の雨を聞く、さて又平沙の落雁も目の前に見へたり見へたり、岸根に続く植柳の一葉の舟のほのかなる、漁火の影見へて漁村の夕照も遠からず、実に唐土の八所の外の気色が面影や、海士のたく藻の夕煙り、松の梢にたなびきて、さながら風をいたむかと、心を尽しながむれば、浮世の中も忘れたり、思へば思えば此の浦に住む人の徳の淵、深き心は頼もしや頼もしや。

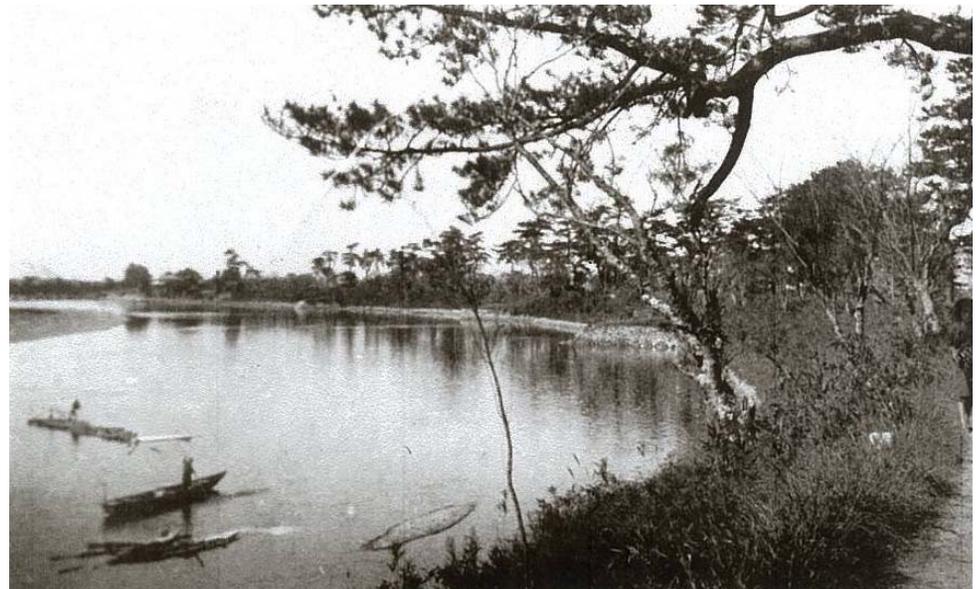
加藤正方が詠ったとされる謡曲八代八景

八景 (hakkei)

松井直之が詠った八代八景

1. 山家夜雨：さよふけて ききる雨のしつけさは ふもとのいほの 軒の垂水
2. 熊川秋月：く万川の みなぞ深き さされ石も あらはなるまで すめる月かな
3. 遙拝晴嵐：岩はしる 瀬の音さやけし ふもと山 あけほのくらく おろす嵐に
4. 松堤夕照：木すえのみ つつみったいそ ほの見へて ゆふかけふれる 松のむら立ち
5. 龍峰暮雪：ゆふつく日 いりにしのらも 龍が峰に なほくれあへぬ 雪の色かな
6. 妙見晚鐘：さそひ来る おともさやけし 白木山 あらしの末の いりあひのかね
7. 八代帰帆：八代の おきつゆふしほ さしつれて ひまなく帰る あまのつり舟
8. 弘田落雁：千町田に 落るとみしは 天草の 島山にえし 雁にかあるらむ

加藤正方の時代には名勝“萩原堤”は歌われていない。松井直之の時代になり、萩原堤の松並木も大きく生育し、松堤と石ハネがおりなす景観は歌や絵にも描かれる景勝地となっていたのです。



明治時代の萩原堤

八景 (hakkei)

~くまがわ百景~



1. 夜雨: 瀟湘の雨を聞く

5. 龍峰暮雪

6. 晚鐘: 遠寺の鐘も響き来て

6. 妙見晚鐘

8. 落雁: 平沙の落雁も

8. 弘田落雁

4. 松堤夕照

3. 暎拝晴嵐

3. 晴嵐: 麓の里の夕嵐

1. 山家夜雨

5. 暮雪: 雪の松江の白島

2. 秋月: 月澄み登る木綿葉川

2. 龍川秋月

4. 夕照: 漁村の夕照遠からず

7. 帰帆: 一葉の舟のほのかなる

7. 八代帰帆

加藤正方の八代八景位置図

松井直之の八代八景位置図